

令和5年度 野市小学校 学校経営経営方針

学校教育目標

笑顔と「ありがとう」があふれる学校



目指す学校像

目指す教師像

安心して安全な学校

子どものよさを引き出す教師

通って楽しい学校

授業力向上に努める教師

協働して取り組む学校

子どものためにつながる教師

目指す児童像

よくきく子 なかよくする子 がんばる子

- ・自分の考えと比べながら聴く。
- ・反応しながら聴く。
- ・最後まで聴く。



- ・いつでも、どこでも、だれとでも関わる。
- ・お互いのよさや違いを認め合う。

- ・何事にもチャレンジする。
- ・最後までやりぬく。



左に示す三本柱の取組は、私たち教職員の基本中の基本の取組です。この三本柱を学年ごとに、さらに具体化し、実践するようにしています。また、その結果、どのような子どもの変容に結びついたのか、結びつかなかったのかを学期ごとに振り返り、自分たちの実践のどこが足りなかったのかを検証し、改善していくようにしていきます。



よ全
の教
取三
組職
本員
柱に

笑顔で「あいさつ」「ありがとう」

子どもをよく観て「認める」「励ます」

子どもの話を「しっかり聴く」

～令和5年度の研究や取組について～

研究主題

みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる児童の育成 ～伝える力・関わる力を伸ばす実践を通して

子どもの居場所づくり・絆づくりを目指して

特別活動・国語科を中心とした授業改善

これまでも本校では、よりよい学級や学校生活につながる子ども主体の学級活動や学校行事に取り組んできました。本年度は、そうした活動の中で見られる子どもたちの姿を通して、自分たちの取組を検証しながら、子どもたちが安心して通える、過ごすことのできる学校づくり、子どもの居場所づくり・絆づくりにつながる学級経営に重点を置いた取組を進めたいと考えています。

長年にわたる本校の研究教科である国語科を中心に、「書く力」がどの教科でも使える汎用的な力となって身に付いているかを検証するとともに、その力をさらに伸ばせるよう授業改善に努めます。また、特別活動についても、学級会で目指す子供の姿を明らかにし、子どもたちが自信をもって発言したり、互いの考えを認め合ったりできるよう授業改善を進めたいと思います。



保育所・幼稚園と小学校・中学校の連携を進める

ICTを活用した教育の推進

コロナ禍によって制限を余儀なくされていた保幼小中連携の取組について、状況の変化に伴い、少しずつ関わりを増やし、充実させていきたいと考えています。そのため、まずは保育所・幼稚園と小学校の連携・接続に軸足を置き、特別活動を生かした実践を充実させたいと思います。日常的な活動や行事での連携を進めるとともに、8月には全体で研修会を実施したり、2月には連携を意識した特別活動の実践を公開する予定です。

これまで以上に教科指導の中で、タブレットを積極的に活用させたいと思います。本年度より高学年を中心に家庭学習での活用も進める予定です。また特別支援学級で、認知能力向上ソフトを導入した取組も実施します。

